

学校教育目標

『自立』『自律』『共生』を目指して ～『人権いしき』で、5W1H～

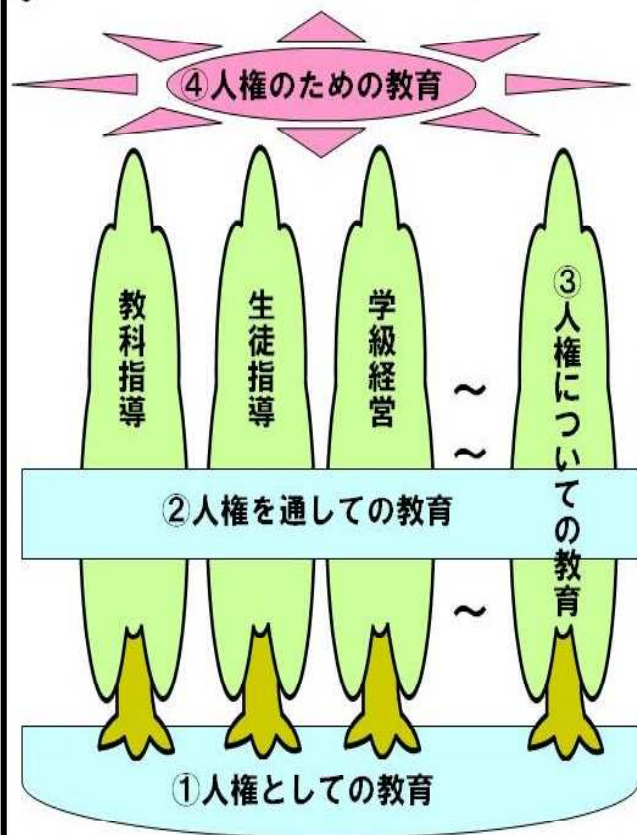


「Why」
「What」
「When」
「Who」
「Where」
「How」

なぜ
なにを
いつ
だれが
どこで
どのように



人権の視点をすべての教育活動に



3 共生

2 自律

1 自立

本年度学校努力点

本年度本校努力点に向けて

『自立』を目指して <①人権としての教育>

- 「教育を受けること自体が人権である」として、教育の機会が保障され、自己実現できる主体的な力を育成する教育
 - ・教育環境の整備 ・基礎学力の習得及び学力向上の実践
 - ・子どもの実態を見つめ、手立てを考える実践
 - ・4感覚を磨く実践
 - (1) <安心できる(包み込まれ感覚)>
 - (2) <出番がある(社交性感覚)>
 - (3) <がんばればできる(勤勉性感覚)>
 - (4) <自分が好き(自己受容感覚)>

『自律』を目指して <②人権を通しての教育>

- すべての学習活動を通して、子どもの人権が守られ、かけがえのない存在として活躍できる場が与えられる教育
 - ・人権が尊重された教育の場の設定を通しての実践
 - ・子ども同士、教師と子ども、教職員同士それぞれが、様々なかかわりを通して行う実践

『共生』を目指して <③人権についての教育>

- コミュニケーションスキルなどの人権感覚や人権に関わる具体的課題について学ぶ教育・人権課題に関わる学習 ・人権感覚の涵養

『共生』を目指して <④人権のための教育>

- すべての人々の人権が尊重される社会を担い得る人間として、成長できる生徒を育成するための教育 ・具体的な実践活動

自立

自律

共生